

平成31年度 マナーアップ講座

実施日	平成31年度4月11日(木)
テーマ	マナーの重要性 ～野球にもサッカーにも、仕事にもある「ルール」～
講師	株式会社ライセンスアカデミー 山田 晃史 さん
対象	全校生徒

社会で幅広く役立つマナーやコミュニケーション能力を身につけることを目的とした、全校生徒を対象にマナーアップ講座を実施しました。

マナーはひとと言で言うと「人間関係の潤滑油」のようなもので、社会で生活していく上で守るべき「ルール」となります。目上の方や同級生、後輩などに対してどのように接するかということにはマナーという「ルール」がそれぞれ存在し、その「ルール」を守ることで人間関係や仕事、社会生活が円滑に進みます。

第一印象が大切であり、相手に好印象を与える身だしなみの秘訣や、日常生活での挨拶の必要性、良い人間関係を作る気持ちを込めたお辞儀の仕方を実技をまじえて教えて頂きました。講座後は、職員室への入室や廊下での挨拶も大きな声で丁寧に行うようになりました。

【生徒の感想】

○講座の冒頭で「小・中・高は完全な平等社会だからこそ世の中に出たとき不平等な社会に苦しむ」と言われとても納得ができた。学校では誰もが同じ土俵に立ち行動している。一方社会では最初から土俵が異なり、優劣をつけられる。だからこそ同じ土俵の学校でどれだけ他人と差をつけるのが大切だと思った。相手からどう見られているのかを意識して、外見だけのマナーではなく礼儀作法のマナーも身につけ、学校生活から他人と差をつけたいと思った。

○状況に応じて適切なマナーは変わるということが体験談を聴いて分かりました。その場の雰囲気や内容に応じた適切なマナーを行えるよう、相手からどう見られているかを意識していこうと思いました。立ち方や座り方、礼などは学校生活だけでなく日常生活でも意識して身につけることができるので、社会に出ても困らないように常日頃から意識して行動していきたいです。

○先生や先輩とこれから学校生活でたくさん関わることが多いので、今日学んだマナーなどを参考にして上下関係に気を付けたいとあらためて感じました。特に第一印象を相手に良く思ってもらいたいので制服の襟やタイがきれいかどうか毎日見直すことから始めたいです。また社会人になるためにも挨拶はしっかり行おうと思います。声を出すか出さないかの意識の違いが大きいことに気がきました。

○この講座で、挨拶やお辞儀の仕方などを学び、普段から行っている動作で自分ではできているつもりでも相手から見ると意外にできていないということが分かった。これからの学校生活では授業前の挨拶や人の話を聴く姿勢などをしっかりとできるように意識し、悪い点は改善していけるようにしたい。また就職や進学などの面接では身だしなみで第一印象が決まるので特に気を配って生活していきたいと思う。

